

まえがき

最近の世の中は、親子間、兄弟間、親族間、恋人間、本当は愛し合わなきゃいけない人たちが憎しみ合い殺しあう事件が毎日起きている。私が子どもの頃には、年末に今年一年の重大ニュースの一つぐらいに聞いた事が日常茶飯事に起きている。世の中はいつたいたいどうなってしまったのか？ これからの未来はどうなってしまうのか？ 子ども達は幸せに育ち、安全な世の中になるのだろうか？

保育に携わってきた人間として思うことは、赤ちゃんは100人が100人、皆可愛くて、どんな人でも笑顔にしてくれる天使。時々、幼い子を持つ親が、「天使のようなわが子が時々悪魔になる」なんて、冗談を聞くけれど、その天使が親を含めいろいろな大人の影響を受けながら育っていくうちに、世の中の役に立つ人間に成長する人もいれば、世の中を震撼させる事件を起こしてしまう人間にもなってしまう。事件を起こした人達の心の奥には、親への憎しみ、恨みを強く持っている人も多い。それ以外にも心が寂しくて、悲しくて、幸せを感じることができない人がいる。

決して子を愛していない親はいないと思うし、子はその愛を受けているのに、どこかで何かの食い違いが起きてしまつて親子関係がギクシヤクしてしまう。人が育つ段階で、何が善し悪しの影響となるのか？ がわかれば未然に防ぐことができるかもしれない。

世の中がよくなるために、幸せな家庭が増えるために、幸せな人がもつと増えていくために、子育ては本当に大変ではあるけれど、この本を読んだ方が、楽しいと感じられる子育て、幸せを感じられる子育てのために、何か少しでもお役に立つことができたら幸いです。